

名古屋市中央卸売市場 流通量推計調査報告書(第6回)

■ 調査の趣旨及び方法

この調査は、名古屋市中央卸売市場で取引される生鮮食料品について、供給先・供給量の状況を把握し市場運営の参考にするため、卸売業者・仲卸業者の協力を得て、調査票若しくは電子データにより回答いただいたものを集計した。

■ 調査対象者及び回収状況

名古屋市中央卸売市場本場、北部市場及び南部市場における下記の業者

▼卸売業者（青果部・水産物部・食肉部） … 回収状況 100%

▼仲卸業者（青果部・水産物部） … 回収状況 100%

青果部 本場 100.0%、北部市場 100.0%

水産物部 本場 100.0%、北部市場 100.0%

■ 調査実施日

青果部・水産物部 平成28年9月8日（木） [第2木曜日]
食肉部 平成28年9月1日（木）～9月14日（水）

■ 調査内容

▼供給地域（調査対象者が販売した相手方の営業所の所在地）

- ◇名古屋市・豊山町（以下「開設区域」という。）
- ◇愛知県（開設区域を除く）
- ◇岐阜県・三重県
- ◇中部6県（静岡県・長野県・滋賀県・福井県・石川県・富山県）
- ◇その他

▼供給先業種（調査対象者が販売した相手方の業種）

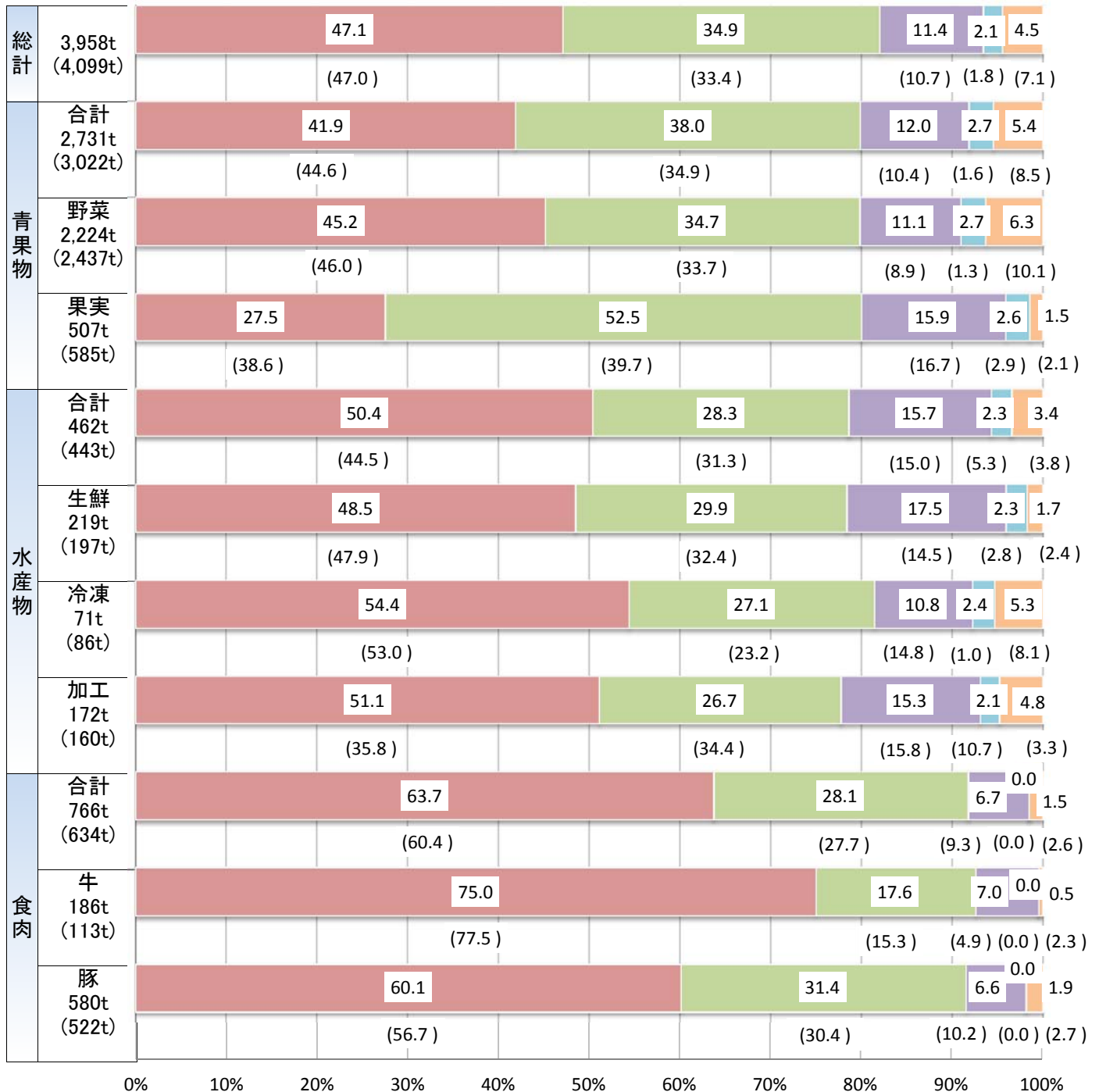
- ◇一般小売店（青果・鮮魚等専門小売店、売場面積250㎡未満の業者）
- ◇大型小売店（売場面積250㎡以上のスーパー、百貨店、生協）
- ◇大口需要者（給食業者、飲食業者）
- ◇問屋（卸売業者、仲買業者）
- ◇その他の事業者（加工業者など）

▼調査対象者が販売した品目とその数量

- ◇青果物 野菜・果実
- ◇水産物 生鮮水産物・冷凍水産物・加工水産物
- ◇食肉 牛・豚

品目別の供給地域の比較

■ 開設区域 ■ 愛知県 ■ 岐阜県・三重県 ■ 中部6県 ■ その他

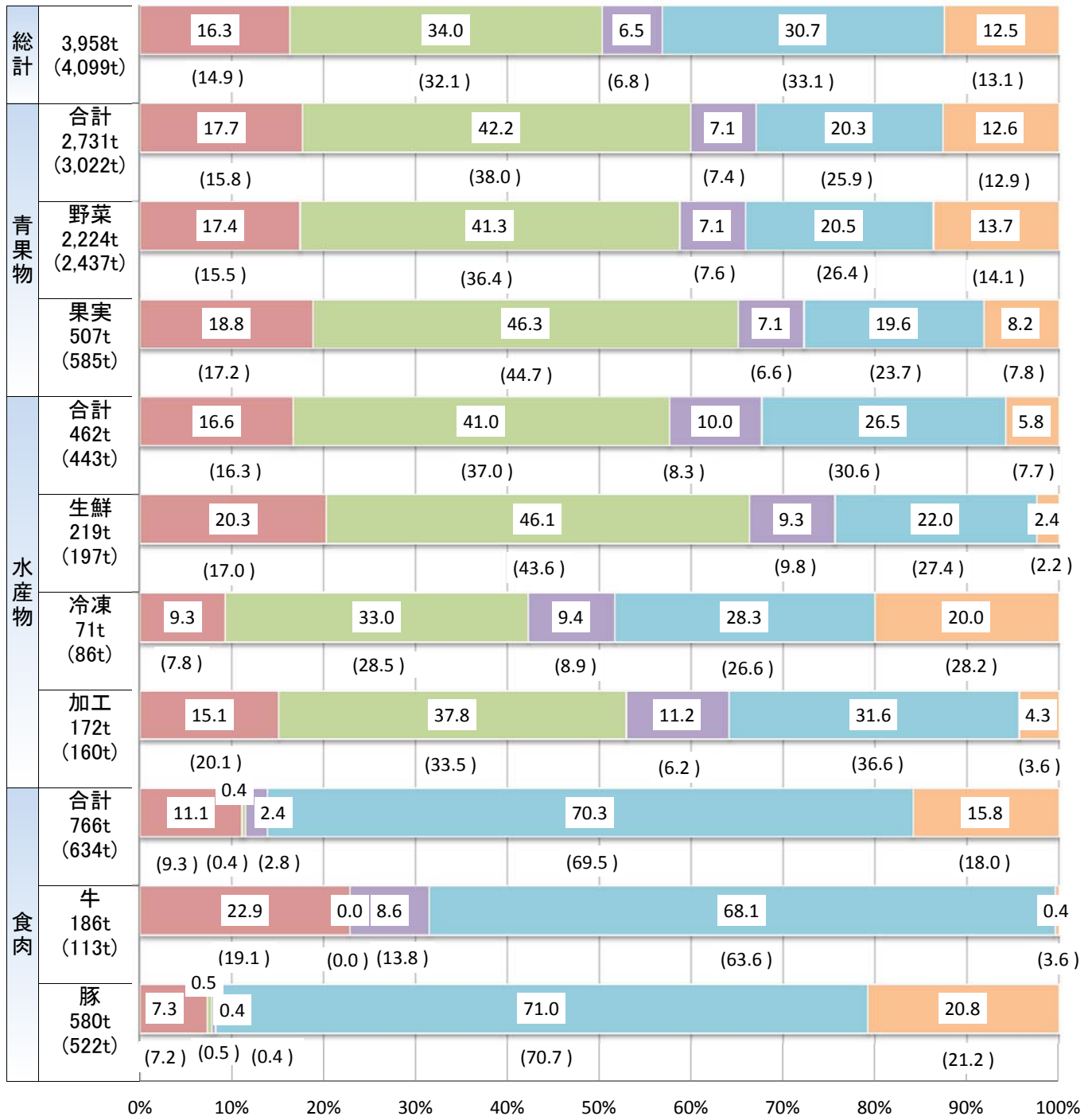


注：()内数値は前回〔調査日：青果物・水産物 平成27年9月10日(木)、食肉 平成27年9月1日(火)～11日(金)〕

- 青果物の供給先は、「開設区域」と「愛知県」で合わせて約8割となっており、特に果実において「愛知県」の割合が高い。
- 水産物の供給先は、「開設区域」と「愛知県」で合わせて約8割となっており、特に冷凍水産物において「開設区域」の割合が高い。
- 食肉は、「開設区域」の割合が高い。

品目別の供給先業種の比較

■ 一般小売店 ■ 大型小売店 ■ 大口需要者 ■ 問屋 ■ その他

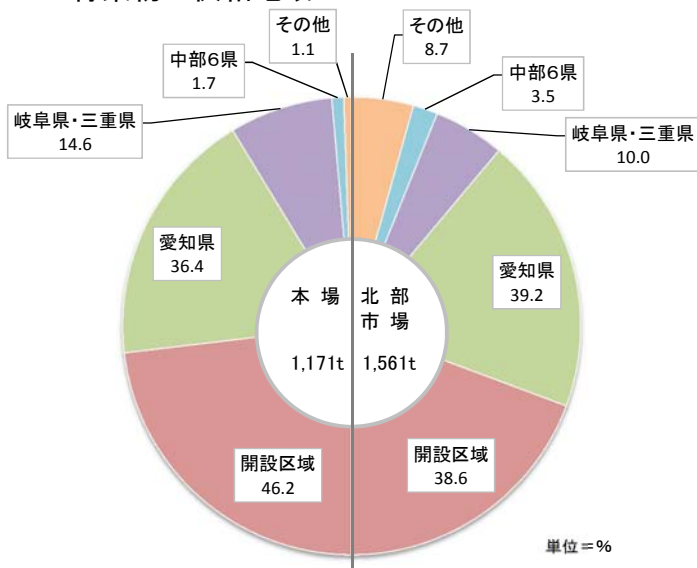


注：()内数値は前回〔調査日：青果物・水産物 平成27年9月10日(木)、食肉 平成27年9月1日(火)～11日(金)〕

- 供給先業種の割合は、青果物・水産物とも「大型小売店」の割合が最も高く、次いで「問屋」、
「一般小売店」の順となっている。
- 食肉は、「問屋」の割合が最も高く約7割となっている。また、青果物・水産物と違い、「大型
小売店」への供給は0.4%と低い。

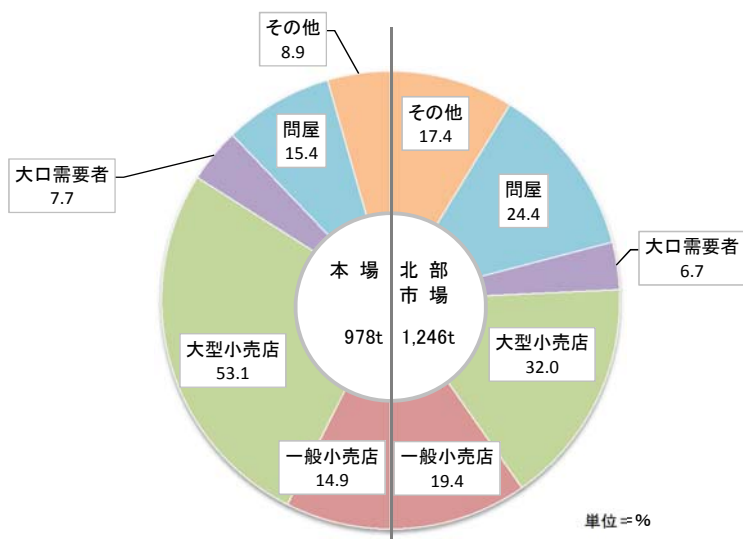
青果物の市場別の供給先

■ 青果物の供給地域



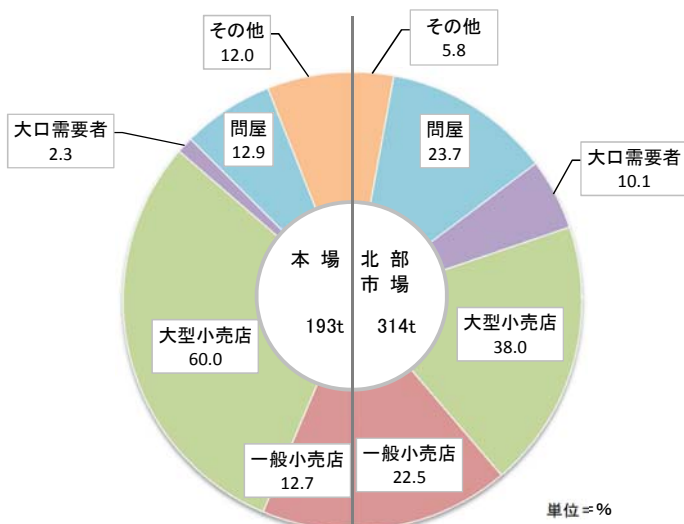
- 青果物の供給地域は、本場・北部市場とも「開設区域」と「愛知県」を合わせて約8割を占めている。
- 北部市場では、本場と比較して、「その他」地域の割合が、高くなっている。

○ 野菜の供給先業種



- 野菜の供給先業種は、本場・北部市場とも「大型小売店」「問屋」「一般小売店」の順となっている。
- 本場では「大型小売店」の割合が5割以上を占めており、北部市場と比較して高くなっている。

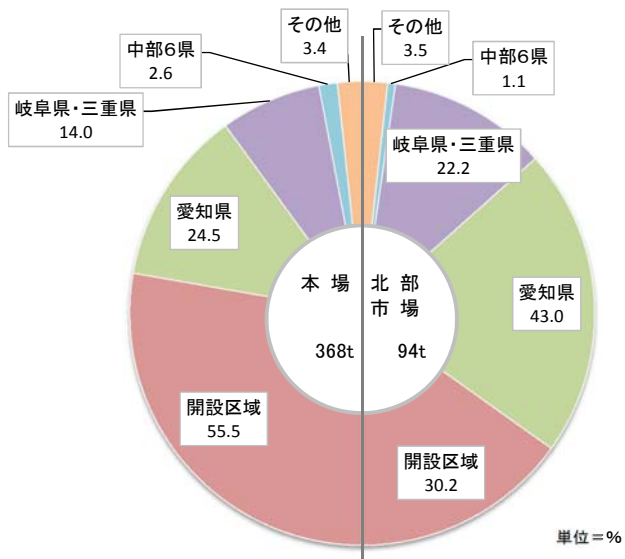
○ 果実の供給先業種



- 果実の供給先業種は、本場・北部市場とも「大型小売店」「問屋」「一般小売店」の順となっている。
- 本場では「大型小売店」の割合が6割を占めており、北部市場と比較して高くなっている。
- 北部市場では「大口需要者」の割合が、本場と比較して高くなっている。

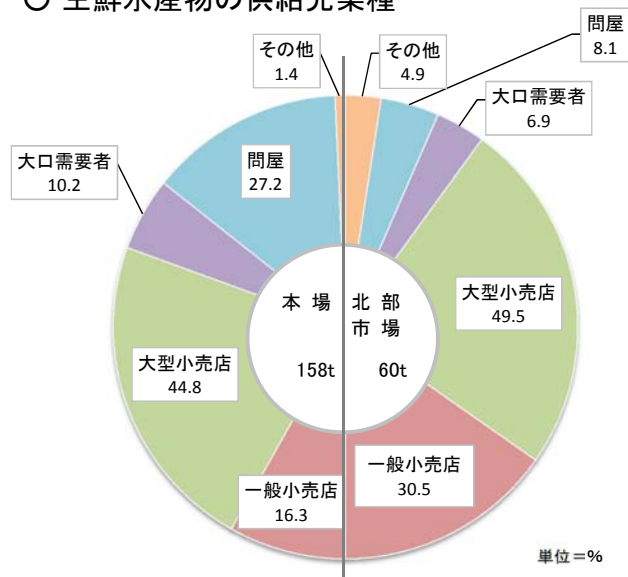
水産物の市場別の供給先

■ 水産物の供給地域



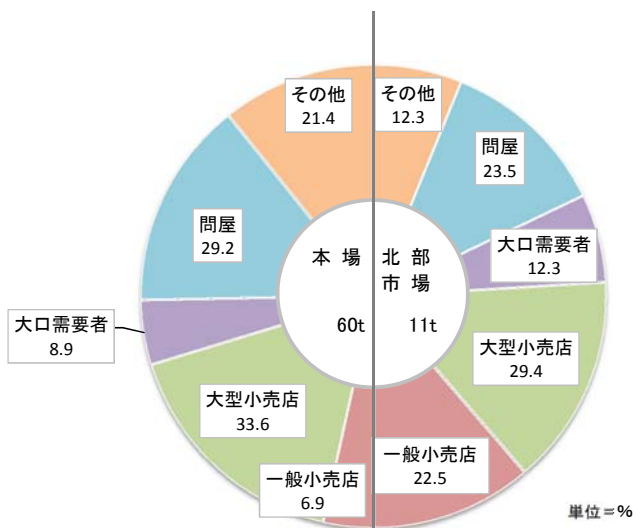
- 水産物の供給地域の割合は、本場では「開設区域」の割合が5割を超え最も高く、「愛知県」の割合と合わせ8割を占めている。
- 北部市場では「愛知県」の割合が4割以上となっている。本場と比較して「岐阜県・三重県」の割合が高くなっている。

○ 生鮮水産物の供給先業種



- 生鮮水産物の供給先業種の割合は、本場・北部市場ともに「大型小売店」の割合が最も高く、4割から5割を占めている。
次いで、本場では「問屋」、北部市場では、「一般小売店」の割合が高くなっている。

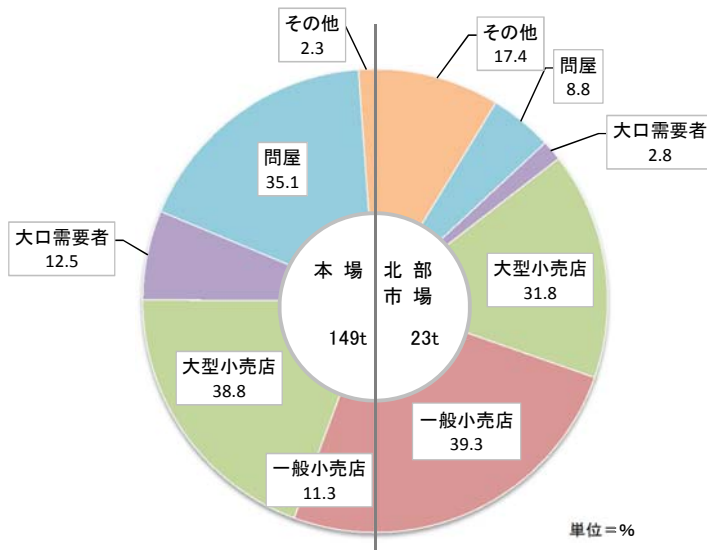
○ 冷凍水産物の供給先業種



- 冷凍水産物の供給先業種の割合は、本場・北部市場とも「大型小売店」が最も高く、次いで、「問屋」となっている。
- 北部市場では、「一般小売店」の割合が2割以上を占めており、本場と比較して高くなっている。

水産物の市場別の供給先

○ 加工水産物の供給先業種

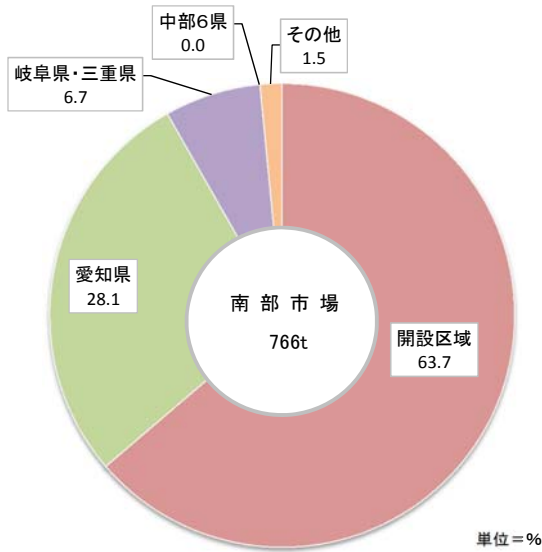


○ 加工水産物の供給先業種の割合は、本場では「大型小売店」が最も高いが、北部市場では「一般小売店」が最も高い。

○ 本場では、「問屋」の割合が3割を超え、「大口需要者」が1割以上を占めており、北部市場と比較して高くなっている。

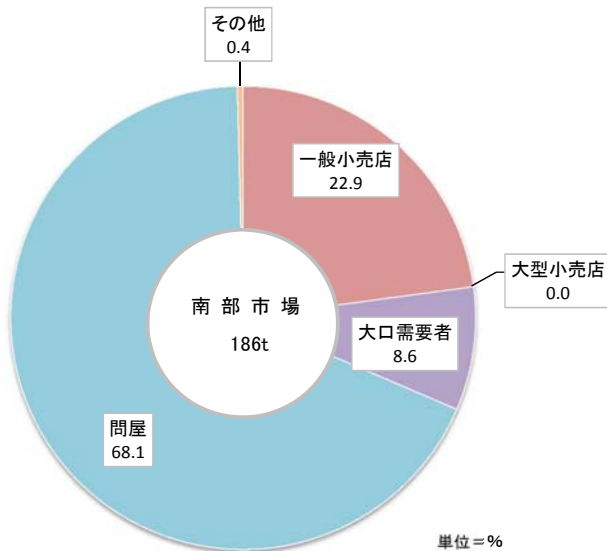
食肉の供給先

■ 食肉の供給地域



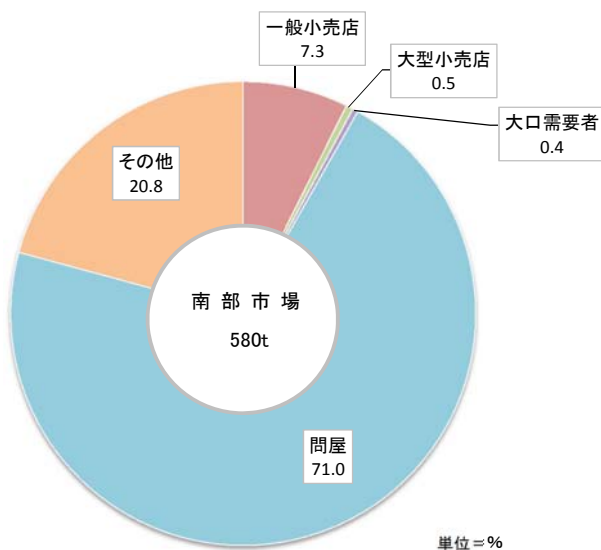
○ 食肉の供給先業種の割合は、「開設区域」の割合が6割以上を占めており、「愛知県」を合わせると9割以上を占めている。

○ 牛の供給先業種



○ 牛の供給先業種は、「問屋」の割合が最も高く、約7割を占めている。
次いで「一般小売店」「大口需要者」の順となっており、3業種でほぼ10割を占めている。

○ 豚の供給先業種



○ 豚の供給先業種は、「問屋」の割合が最も高く7割以上を占めている。
次いで「その他」「一般小売店」の順となっており、3業種でほぼ10割を占めている。

名古屋市中央卸売市場流通量推計調査報告書（第6回）
平成28年12月 発行

編集・発行 名古屋市市民経済局市民生活部消費流通課
名古屋市中区三の丸三丁目1番1号
電話（052）972-2439
Fax（052）972-4136